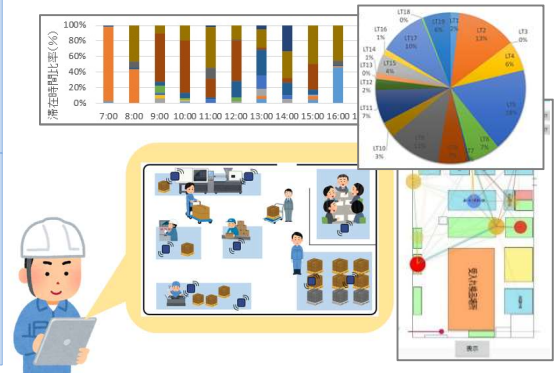


スマート工場において人・モノの移動分析が出来かつ即時導入可能なスマートタグシステムの開発

株式会社イーアールアイ 技術部 三浦 淳◎
 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 准教授 堀川 三好○
 公益財団法人いわて産業振興センター
 ◎プロジェクトリーダー、○サブリーダー、



■ 研究開発のねらい

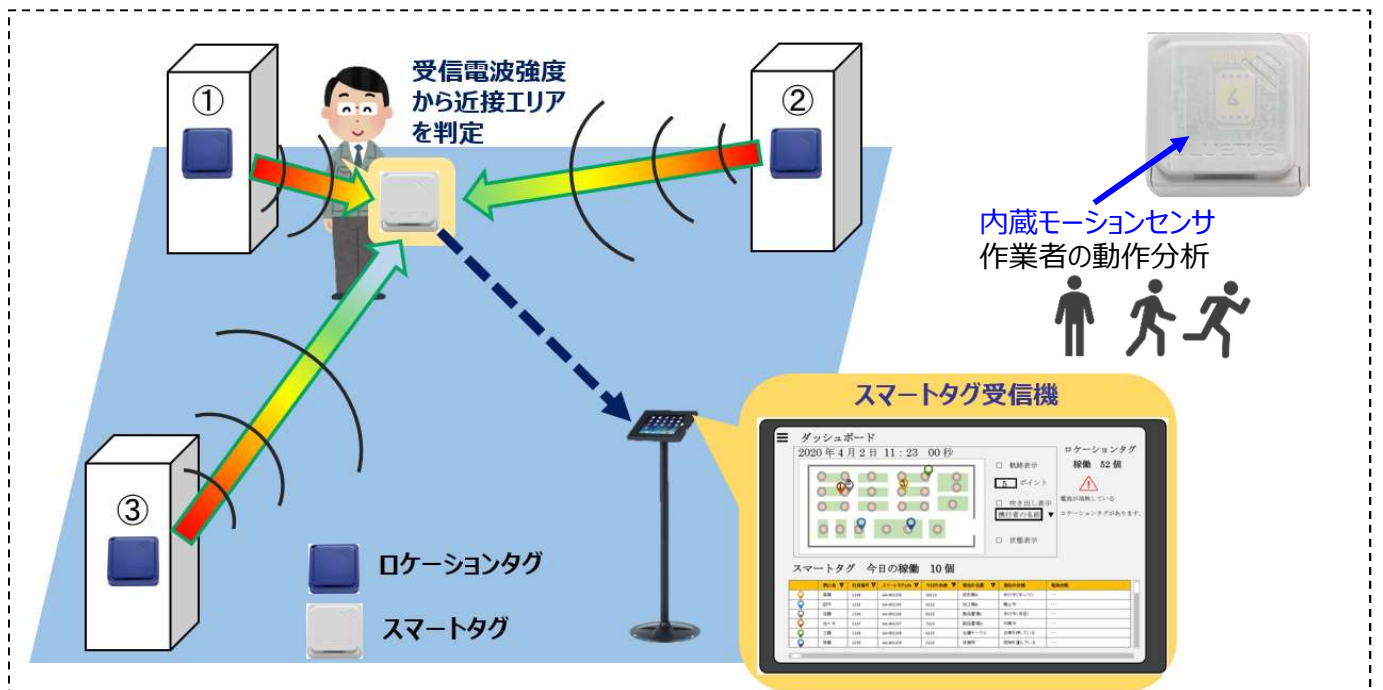
生産・物流現場における移動する人・モノの位置の把握は、バーコードやRFIDを利用した現物管理が主流になっています。しかし、これらの技術は移動する人・モノの位置を特定の狭いポイントでしか把握出来ず、また、センシング機能が無いため状態まで把握することが出来ません。そのため、Industry4.0で掲げられた変種変量の生産システムの実現の為に、代替する技術が求められています。

研究開発中のスマートタグを利用すると、読み取り操作なしで人・モノの位置を把握し、更に内部のセンサで携行者の動作状態や、モノの環境状態を測定することが出来ます。本事業ではスマートタグを用いて、工場内で移動する人・モノの「位置」「滞留時間」「運動量」「作業状態」を把握・分析する機能を持ち、且つ即時導入することができるスマートタグシステムを開発し、実用化を目指します。

■ 研究開発の内容

スマートタグシステムの製品化を目指し、以下の項目を実施します。

- ① 即時導入型のスマートタグシステムの開発
- ② 機械学習による作業者の動作分析
- ③ 実証実験によるノウハウの構築、研究開発へのフィードバック



- 2年後に大型研究開発資金(商業・サービス競争力強化連携支援事業(新連携事業))への応募申請を予定。